

（午後4時11分 再開）

○議長（中西峰雄君）休憩前に引き続き会議を開きます。

日程に従い、一般質問を行います。

順番14、12番 辻本君。

〔12番（辻本 勉君）登壇〕

○12番（辻本 勉君）ただ今、議長のお許しをいただきましたので、一般質問を行います。

議長からも話がありましたけど、本日最後でございます。お疲れですけども、何ぼ頑張っても1時間しかありませんので、じっくりとおつき合いいただきますように、よろしくお願ひします。途中で暫時休憩が入るかもわかりませんが、よろしくお願ひしときます。

今回は、3点について一般質問を行います。

まず、1点目でありますけども、京奈和自動車道（橋本道路）の側道未完成部分の見通しについてであります。

京奈和自動車道（橋本道路）の側道については、現在橋本インターと橋本東インター間において橋本川東側ですね、北馬場地区から橋本クリーンセンターの南側といたしますか、隅田地区の一部まで完成いたしまして供用されておるわけでありますけれども、両インターへの接続がなされていないということで、本当に真の利便性が問われております。せっかくの側道でありますので、インター間が完全に開通することが真の利便性を図れることだと思いますので、早期に着工完成が望まれているところであります。

まず、北馬場から橋本インターまでの間につきましては、いろいろ問題点もあって、私も内容については知っているところなんですけども、特に東側、隅田地区のほうにつきましては、なかなか情報が入ってこない状況の

中で、全く進んでいないのかなと思いますんで、その辺について詳しくお教え願ひたいと思います。

続きまして、高野口地区公民館内に設置している自動交付機の公民館休館日、月曜日なんですけども、これ祝日は除くということで使用可能化について質問したいと思います。

本年の3月の定例会におきまして、高野口地区公民館の職員の要員等についての質問をさせていただきました。その中で館内設置の自動交付機についてもお尋ねしたところありますけども、そこで要望をさせていただきました。答弁としては、前向きに検討することだったんですけども、私としてはもう新年度、4月からやっていただけるものと思って期待をしておったわけありますけども、いまだに実行されておりませんので、その後、どのような検討をされたのか、また、どのようにするのかお尋ねいたしたいと思ひます。

続きまして、3点目でありますけども、皆さまご存じだと思うんですけども、南海電鉄の観光列車「天空」の運行がされますので、それに伴う本市の対応についてをお伺ひいたします。

本年の7月3日より南海電鉄の観光列車「天空」が運行されます。5月にはプレ運行もされておるんですけども、橋本駅と極楽橋駅の間、1日2往復ということでもあります。それに伴い、本市は世界遺産高野山の玄関口としてどのような対応をされるのですか、以下の点についてお尋ねいたしたいと思ひます。

橋本駅前の活性化及び本市の観光事業として、どのようなかわりを持とうとしているのですかということで、高野山へのルート、

主にバスなんですけども、ルートにつきましては、従来は橋本から九度山、そしてもとの有料道路を通りまして高野山へというルートが中心であります。今現在はほとんどが、特に大型バス等につきましては、かつらぎ町から480号線を通りまして矢立経由高野山へという、このルートが中心になっています。私も家内の実家が高野町細川ですので、ちょくちょく帰るんですけども、以前はかなり行き帰り、観光バスに出会いました。しかし、最近はほとんどと言っていいほど観光バスの姿が見受けられません。そんな中で、ルートが大幅に変わってきているのではないかなという中で、世界遺産の高野山の玄関口とっている橋本市は、ほんまにそんなことを言うってええんかなと。玄関口というのは名ばかりで、今後、玄関口はかつらぎ町になってしまうのではないかなと思って心配しております。

そんな中で、南海電鉄が「天空」という観光列車を運行を行います。このことが本当に橋本市にとってどのようなかわりを持っていくんかというのが大変大事な問題であります。橋本駅にどれだけの人を集めることができるんか、今後の橋本駅前の活性化と、本市の観光事業、あらゆる商業の発展につながっていく点では、本当にこのことにかかわることが今最も大事なことはないかなと考えています。そういう意味で、橋本駅前の活性化や観光事業にどのように、「天空」と兼ね合わせて橋本市が対応していくんかということについてお尋ねいたしたい。

2点目でありますけども、従来から高野山との関係の中で課題となっていましたパーク・アンド・ライドの件であります。パーク・アンド・ライドにつきましては全国的にもかなり実施をされておるわけでもありますけども、もう何年も前からいろいろ言われておるん

ですけども、九度山町は早くからパーク・アンド・ライドについての取り組みをされています。特に、この「天空」運行に関連しまして、より力を入れようということで、町長、あえてかなり活発な活動をされております。

そんな中で、本市はこの九度山町のパーク・アンド・ライドに対抗できるパーク・アンド・ライドの考え方についてどのように思っているのかをお尋ねいたしたいと思います。

3点目ですけども、南海電鉄はこの「天空」運行に絡みましてこうや花鉄道というプロジェクトを組んでおります。もう何回か事業をされておるわけでもありますけども、このプロジェクトに木下市長も参加をされまして、清水のちょうど線路際に菜種の花を栽培されて、かなりきれいになっています。特に九度山町、高野町、九度山駅から高野下、その周辺等につきましては、駅にもかなりきれいな花を植えられて、かなり積極的にこのこうや花鉄道のプロジェクトに参加をしておるんですけども、橋本市は若干その辺が弱いかなと。私も過日、南海電鉄のほうへ行きまして話を聞いていて、プロジェクトの冊子ももらったんですけども、そのときに初めて市長が清水のほうでそういうイベントに参加されたという話も聞きましたし、先ほど言いました「天空」のプレ運行につきましても市長は出席をいただいておりますが、議員の方の姿は全くありませんので、瀧議員はたまたま行かれておただけだと思うんですけども、全く情報が伝わってこないといいますか、市長がわざわざ「天空」のプレ運行に出席をしていただいているのかかわらず、議員と市民も全く知らないという状況だと思うんです。これでは橋本市のPRにとって大変欠陥があるかなと。広報についてもどういう広報をしているかなと思うんですけども、この「天空」運行が本当に橋本市にとって一つの契機として大変重

要な役割を占める中で、南海電鉄と、私も南海電鉄出身だから言うわけでもないんですけども、これを南海電鉄と本市、九度山町も含めまして、この南海電鉄の沿線が一つになって観光PRをやっていくことが本当に一番大事な、橋本市にとって本当に大事なことはないかなと思いますので、今回この質問をさせていただきました。

特に、電鉄で話を聞きましても、橋本市は大変遅れていますよという話しか出てきません。九度山町が県や南海電鉄から補助金をいただいてパーク・アンド・ライドを積極的にやっぱり進めておる。トイレの整備とか観光物産の販売所等を設けるといふ話も出ていますので、本市がもっと積極的にこれにかかわっていただきたいということで、よろしくお願ひしたいと思ひますので、前向きなご答弁をお願ひしておきます。

○議長（中西峰雄君）12番 辻本君の一般質問に対する答弁を求めます。

経済部長。

〔経済部長（山本重男君）登壇〕

○経済部長（山本重男君）橋本駅前の活性化や橋本市の観光事業とのかかわりについて、お答えします。

南海電鉄が平成19年度から取り組んでいるこうや花鉄道プロジェクトのメイン事業として、橋本駅を始発として極楽橋駅までの19.8kmを1日2往復する新型観光列車「天空」が7月3日から運行されます。定員は76名で、全席座席指定、車両には展望デッキや大きな窓、ワンビュー座席のほか、先頭車両には展望席も設けられています。この「天空」の運行に伴う大型観光バスが橋本駅前へ発着することにより、橋本駅前に大勢の観光客を集客することができ、駅前の活性化が図られると考えます。このためにも、橋本駅前へ大型バスが発着できる駐車場を南海電鉄と協力しな

がら確保しなければならないと考えておりません。

橋本市では、この「天空」の運行を駅前活性化の好機ととらえ、6月市議会補正予算に上程させていただきました、ふるさと雇用再生特別基金活用事業の実施により、へら竿や再織り等の地場産品販売及び地域の観光資源や特産物をインターネット等で情報発信等を行い、市内事業者の活性化に取り組んでまいります。

また、昨年度、新しい時代感覚による地域資源を活用した新ブランド開発のため、橋本商工会議所と伊都地域の商工会を中心に、県・市・伊都3町及び民間団体の協力のもと、橋本・伊都地域の物産を使った高野スイーツコンテストが実施されました。

このコンテストには、全国から241件の応募があり、ホテル日航の料理長を中心とした審査を行い、最優秀賞には干し柿フィナンシェが、優秀賞にはごま豆腐を食材とした高野・和ていらみず、干し柿を食材とした干し柿パウンドケーキが選ばれました。このアイデア商品を商工会議所、商工会を中心に市内商業者に働きかけ、商品化ができれば本市の新ブランドになり、地域商工の活性化につながると考えています。市としても、今後地域ブランドの開発やPR、駅前の観光案内所での販売等について商工会議所や商工会、観光協会と連携を図り、積極的に取り組んでまいります。

次に、本市の観光事業の取り組みについては、市内主要駅からの観光ルートの設定や地元イベントの連携等について商工会議所、商工会のほか、JR、南海電鉄や観光協会、県観光アドバイザー等と魅力ある催しを進めるための協議を行っています。

また、昨年度は境原・杉尾両区と里山アクションチームの協力のもと、境原横手八幡神

社から杉尾、杉尾からダイヤモンドトレールの行者杉へのハイキング道を整備いたしました。

今後、さらに観光資源の整備や民間ボランティアの育成に取り組み、本市の自然を生かした玉川峡ややどり青少年旅行村、観光農園、前田邸、高野口IT交流センター、一本杉等の魅力ある観光資源を活用し、観光客の集客に努めてまいりたいと考えています。

次に、パーク・アンド・ライドについてお答えいたします。

この取り組みは、夏から秋にかけて観光シーズンに高野山内が車であふれ、山内観光に支障を来していることを解消する試しの一つであり、また、橋本市から高野山までの移動手段を電車、ケーブルカー、そして徒歩移動にすることにより、自然とふれ合う機会をつくる取り組みです。

橋本市から高野山への交通手段をバスやマイカーから「天空」などの電車利用でゆっくりと自然を満喫いただく旅行プランの提案等、南海電鉄と検討しているところです。

次に、こうや花鉄道プロジェクトへのかかわりについてお答えします。

南海電鉄が高野沿線の自然や、地域の魅力を最大限にPRする新規プロジェクトとして、昨年、下古沢駅と高野下駅での花屏風の設置や、地元小学生の四季の花のデザインをもとに車両に描いた花のラッピング列車が運行されています。この事業のメインプロジェクトとして、今年の夏から観光列車「天空」が本格運行されることに先立ち、4月29日から6月20日までの間にプレ運行がされています。車窓からの眺めをさらにアップして、乗客に潤いと安らぎを感じていただくため、沿線に四季の花々や落葉樹などの植栽も検討しています。

第1段として、学文路地域住民を中心とし

たボランティアの協力により、沿線に菜の花等が植栽され、地域のイメージアップや環境の美化にもつながりました。

今後、南海電鉄や沿線の九度山町や高野町との連携はもとより、地元住民との連携や協力をいただきながら、四季折々の花々の植えつけを推し進めてまいりたいと考えていますので、皆さまのご支援をお願い申し上げます。

今回の南海電鉄こうや花鉄道プロジェクトは、橋本市の観光PR事業のみならず、地域振興の絶好のチャンスととらえ、橋本市、橋本商工会議所、高野口町商工会、観光協会等、地域が丸となって取り組みますのでご支援くださいますようよろしくお願い申し上げます。

○議長（中西峰雄君）建設部長。

〔建設部長（樽井豪男君）登壇〕

○建設部長（樽井豪男君）京奈和自動車道（橋本道路）側道未完成部分の見通しについてでございますが、小原田、北馬場地区の側道については用地買収取得の中で方線を変更した案を国より提案されており、その計画案で地権者には説明済みであります。続いて、地元関係者に説明をする準備調整中であります。

また、今後の予定は、本年度に詳細設計に入り、地元説明会を経て、できるだけ早く工事に着手していきたいと聞いております。

中島地区の側道については、高架案から地べた案に方線を変更した案が国より提案されており、平成20年度末に市から関係者への説明会を実施し、大筋合意されてございます。今後は、詳細設計に入り、地元説明会を経て、できるだけ早く地べた案に伴う追加用地買収に入るとともに、工事に着手したいと聞いております。

橋本、高野口間の側道につきましては、昨年10月に供用され、非常に利便性等が向上しており、残された2カ所の側道未完成部分の

1日も早い供用開始に向け、市も全面的に協力するとともに、国に対し強く働きかけてまいります。

○議長（中西峰雄君）教育次長。

〔教育次長（西本健一君）登壇〕

○教育次長（西本健一君）高野口地区公民館に設置している自動交付機の公民館休館日の使用可能について検討をしたのか、どのようにするのかというご質問にお答えいたします。

月曜日と祝日に地区公民館職員が交代で勤務するという点について検討しました結果、月曜日の開館について、1年間の試行ということで開館しようという結論を出しました。現行職員体制の中での試行ですので、年末年始や祝日の月曜日については除かせていただきます。

実施時期につきましては、周知期間などの関係もあり、7月からとさせていただきます。なお、月曜日の自動交付機の利用状況のデータをとりまして、その結果、1年後に見直しを行いたいと考えております。ご理解のほど、よろしく申し上げます。

○議長（中西峰雄君）12番 辻本君、再質問ありますか。

12番 辻本君。

○12番（辻本 勉君）それでは、1番目のほうから少し再質問をしていきたいと思っております。

東側、西側も含めて、どちらも一応本年度に詳細設計に入っていくということなんですけど、先ほども話をさせてもらったんですけど、西側のほうにつきましては、遅れておる問題点というのは把握しておったんですけども、この中島地区の部分ですね、東側の部分については、これは何か遅れておる原因というのはあるのかなど、どこにあるのかなということが考えられるんですけども、国の事業ということで、国と地元の話し合いということなんで、市当局としてどれだけ把握しているん

か、ちょっと難しい部分はあると思うんですけども、具体的な状況は結構ですので、そのことが解決されたんかどうかということだけでもお教え願いたいと思うんですけども。

○議長（中西峰雄君）建設部長。

○建設部長（樽井豪男君）まず、中島地区につきましても、この遅れた理由につきましてもは国の道路特定財源の一般財源化に伴う絡みとか、非常に無駄使いという国全体の指摘の中で、平成19年にはもう高架橋で工事にかかるということで地元説明も終え、もうそろそろかかるという後で、すべて高架から白紙やと、地べた案、もしくはもうちょっと橋を低くするという点で、急に国のほうから方向転換がありまして、それで各うちの市長をはじめ、やはりこの側道につきましても非常に市としても重要な路線であります。それで、近畿地方整備局並びに国のほうにも何とかもとの案で早急にしていきたいということで申しておったんですが、非常になかなか国としてもそういうわけにいかないということで、この地べた案ということで地元の皆さんに市のほうから先に説明行かせまして、大筋合意を得ているということでございます。

あとのいろんな問題点につきましては、防音壁の問題とか、それとまたこの地べた案によりまして、追加の用地買収とかも生じてきます。そういったこともありますので、もう少し用地がどこまでかかるかというのは詳細設計に入ってから、またその防音壁の問題とかというのは、やはり国のほうからちゃんとした回答を提示していただいて、この側道が1日も早く工事が終わるように、市も全面的に協力をしたいと思っておりますので、ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

○議長（中西峰雄君）12番 辻本君。

○12番（辻本 勉君）そうしたら、西のほうは用地買収は完全に終わっておるんでしょ

か。設計ができたという話もちらっとは聞いておるんですけども、西部分は用地買収は完全に終わっておるんか、詳細設計はもうでき上がっておるんかという部分と、この東部分の詳細設計がいつ頃できるといいますか、その見通しについてはちょっと把握されておるんかどうか。把握されておったら時期的なものをお願いしたいんですけど。

○議長（中西峰雄君）建設部長。

○建設部長（樽井豪男君）小原田、北馬場地区につきましては、まず本線が変わったというのはやはり一部、まっすぐもともと行くというのが道路でありまして、その中で一部地権者の反対があり、そこが長年にわたって解決をしないということもありまして、少しその部分で本線を振ることによって、その用地をかけずに北馬場までつなぐということで、国もその方針で決めていただきました。一番当初につきましては、用地がだめなら高架橋もだめやというような、非常に市としても厳しいところがあったんですけども、何とか国のほうでその用地もかけずに、ちょっと道路幅、歩道をつくところを歩道幅を取りまして、車道だけの2車線で何とか用地をかけずにということで、そういう案が提示されております。

なお、詳細設計は今年度早々に発注しておりますので、早ければ今年度、または来年度早々には工事着手していただけるものと市としても思っておりますが、やはりそれに向けて市からも和歌山河川国道事務所に強く今年度中、または来年度早々に工事着手していただくよう要望していきたいと思っております。

中島地区の側道につきましては、まだ詳細設計を発注したというのは、今のところまだ聞いておりません。ただし、今年度中に詳細設計に入るという予定の中で、地元の合意を得れば、やはりまず用地買収から入っていき

たいということは聞いております。何かにつけて、この小原田、北馬場並びに中島地区、この側道が2本つくことによりまして橋本市内、高野口町から真土までの間の側道がすべて開通いたしますので、市としても、また企業誘致の絡みにしても、非常に大事な道路との認識でおりますので、市といたしましてもやはり全面的な協力をして、1日も早い供用開始に向け努力したいと思っております。

○議長（中西峰雄君）12番 辻本君。

○12番（辻本 勉君）ありがとうございます。小原と北馬場につきましては、市長も大変努力をいただいて、設計変更をしてかなり前向きに進んでおるようでありまして、中島地区につきましても、それなりの懸案がありますので、国の事業ということなんですけども、市として大変大事な道でありますので、できましたら同じように、東側も西側も同じような時期にやはり開通ができるような努力といえますか、働きかけを国に対してお願いしたいなと思います。中島の部分が設計に入るのはちょっと遅れそうですけども、そのことにつきましても市としてやはりできる限りの努力をしていただくことをお願いしておきたいと思っておりますので、頼んでおきます。

続いて、2番目の高野口地区公民館の自動交付機の件でありますけども、これは前向きなええ返事をいただきましたので、ええ返事をいただいて文句を言うておたらちょっと怒られたらいかんのですけども、やはりいろんな行政の施設は、つくるときには基本的には市民の目線に立った、使う人の目線に立った設計といえますか、工事をやっていかないと、後でいろんな問題が発生してきますと、なかなかやりにくいといえますか、お金もかかりますし、大変やりにくい部分も出てきますので、その辺はやはり十分いろんな施設、公共施設をつくるときには利用者の目線に立

った感覚といいますか、以前も東部コミセンのときにもあったんですけども、今のご時世においてバリアフリー化がされていないという、そういう問題もありましたし、この自動交付機につきましても、人がいていないときに活躍するのが、前も言わせてもらいましたけども、自動の機械ですので、人がいてなくても自動交付機でいろんなことができるというのが自動交付機なので、その辺も考えた中で、きちっとやっぱり工事のときには対応していかんと大きな問題が発生しますので、今後とも、ぜひとも使う方の目線に立った設計管理はしていただきたいなと思います。

今も公民館の利用の中でも問題が出てきておる部分が若干ありますね、靴をはきかえないといかんとか、そういう問題も出てきておるんですけども、やはり今の時代ですので、だれもが本当に使いやすい、安心して使える公共施設といいますか、ユニバーサルデザイン化されたやはり公共施設をつくっていくという、市民に対する優しい気持ちの工事をやはりやっていくということ、今後ともこういう話が出てこないように肝に銘じてお願いしておきたいなと思います。

それと、大変高野口地区公民館に対して職員の方に大変ご努力をいただいてやるわけがありますけども、地区公民館のあり方というものをやはり考えていかんと、従来の公民館といいますか、生涯学習の拠点という感覚から、高野口地区公民館につきましてはいろんな機能が入っていったおるわけですね。福祉関連やら、行政相談も含めまして。今後、地区公民館がどういう形の役割を果たしていくかということも、きちっと全市的にやっぱり考えていく時期にあるのかなと。今までの生涯学習の拠点だけでいいんかどうかということも考えていかんと、本当に行政からいきますと、地域住民に一番密着した場所であり

ますし、職員も配置をされていますので、そういう意味からいいますと、あらゆる機能をやっぱり備えていく時代に入っているのではないかなと思います。そういう意味でも、今後はやはり地区公民館の、ちょっとずれるんですけども、高野口町は大変これ、5.5人体制の中でご無理をお願いしてやっているんですけども、地区公民館の体制も十分考えながら公民館のあり方というものを十分精査してやっていっていただきたいなと思いますので、よろしくをお願いします。

少し質問したいんですけども、休みの関係で調整をしていただいて、月曜日1人の方が勤務していただけるということでもいいんでしょうか。

○議長（中西峰雄君）教育次長。

○教育次長（西本健一君）まず、先ほどの市民の目線に立った公共施設のあり方ということ、特に自動交付機のことなんですけども、これにつきましては設置場所につきましては、施設内における端末機の設置場所が管理者の目の届く範囲内の場所というような制限、制約があるように思います。それと、防犯カメラ等を設置した場所であると、そういった部分の自動交付機の制限があると、後で私も確認しましたので、確かに辻本議員が言われておる、そういう目線に立つのは確かに大事ですが、自動交機に係りましては、そういった部分での制約があるということはお承知いただきたいなと思います。

それと、月曜日につきましては、自動交付機のみそういった部分で、館をあける限りはだれか設置者がいるというのが条件のように思いますので、そういった部分で他の室については使えないと。その自動交付機のみという体制でまいりたいと思いますので、1名で可能かと考えております。

以上です。

○議長（中西峰雄君）12番 辻本君。

○12番（辻本 勉君）公民館は月曜日休みということだけはきちっと押さえておいていただきたいと思います。そうやから、せっかくおるんやから月曜日もほかの施設もあけろとか、そういう要望も出てきますんで、やはり公民館は月曜日は休館ですよということは、きちっと押さえた中で自動交付機のみということは、基本はきちっと崩さないようにしてもらわんと、今後いろんな話が出てくる可能性もありますので、それだけ十分注意していただきたいなと思います。ありがとうございます。

そうしたら、次に3番目の部分に行きたいんですけども、経済部長から答弁をいろいろいただいたんですけども、私がこれ、一般質問するからいろいろ考えてくれておるんかどうか知りませんが、本来ね、電鉄へ行ったんですよ、この間も。そうしたら、九度山町とか、橋本市は商工会議所の畑野会長ですね、商工会議所等は積極的にいろんな話は来ていただいていますけども、橋本市としては全くありませんと、今まで。だから、本来はやはりもっと積極的に、まあ言えば九度山町に負けておったら情けないでしょう。そうでしょう。南海のこの電車、九度山町から出発するのと違うんでしょう、橋本から出るんですよ。だから、橋本市はもっともっとういような情報があったら、びしっと話をして、南海電鉄と常にやっぱり連絡をとって、これ南海だけと違いますね、JRかって、やはりJRもJRの電車に乗って来られて橋本へ来ていただいて、橋本から南海電車の「天空」に乗っていただくということも、JRもやっぱり力を入れていかないといかんし、そういう部分でいきますと、南海、JR、橋本市がやはり一つになってきちっといろんなことに首を突っ込んでいくというんかな、私ね、2回市

長が出ていただいているのに、議員も、職員の人、どのぐらい知っておるのか知らんけど、市長が積極的に花鉄道プロジェクトに参加していただいているのにね、はっきり言うて議員も何も知らんというのは、こんな情けない話はないでしょう。それだけ、もっとほんまにPRして、橋本市、PRが下手くそと言えば下手くそなんです。そうやから、もっと積極的にやっていただきたいんです。

ここで1点だけ、一番やってほしい部分が、やはり橋本駅の活性化、橋本駅前周辺の活性化、橋本市の活性化を考えたら、この「天空」にあわせて観光バスが必ず橋本駅前に入ってとめる。何台かは入って、ずっととめておく必要性はないんですよ。ずっととめておければ一番いいんですよ。パーク・アンド・ライドで駅周辺に大きな駐車場があって、そこに観光バスをとめていただいて、橋本市の駅前をうろろろしていただいて、電車に乗って行ってもらおうというのが一番いいんですけども、最低線、橋本駅前に観光バスが2台でも3台でも一時的にも入ってお客さんをおろせる、そういう状況をつくってやらんと、何ら発展しないと思うんですよ。そういう気持ちがあるんかどうか、その取り組みをされようとするんかどうか、それだけちょっとお伺いしたいんです。

○議長（中西峰雄君）経済部長。

○経済部長（山本重男君）お答えいたします。

「天空」が7月の3日から本格運行をするということに伴いまして、南海鉄道では現在JT Bとか、各旅行会社と協議をいたしまして、「天空」の始発駅である橋本市にバスをとめて、そこから「天空」に乗って高野山まで行ってもらおうという、そういう計画を立てております。

そういうことで、橋本市といたしましては、南海の担当の方と橋本駅のほうへ行きまして、



どこにとめられるかと。一番最初は観光協会が借っております案内所の横に、ちょっと大きな歩道があるんですけども、そこへということやったんですけども、あそこはちょっとやっぱりとめるのはしんどいかなというような気がしましたので、バスのとめるロータリーがあります。そのロータリーの一番南のバスレーンですけども、バスターミナルの5番というところがございます。そこを「天空」の専用の駐車場にしてはということで、南海電鉄のほうへ提案をいたしました。南海電鉄のほうは、JRその他の機関とまた協議に入っていくわけですけども、ここが一番有力な候補地だと思っています。

そういうことで、橋本市としては駅前に大きな大型バスが発着して、多くの観光客に来ていただけるように、また人が来ることによって町が活気づく、土産の一つも買ってもらうことによって地域の活性化につながっていくということを目標に、南海電鉄と協議をしております。

以上です。

○議長（中西峰雄君）12番 辻本君。

○12番（辻本 勉君）あのね、南海とかJT Bのその話を待っとるんじゃないんですよね。橋本市として、やっぱりどないしていったら橋本駅前がよくなるんやと。橋本市内の、まあ言うたら市内の観光、そのバスをとめてもらうだけしか考えていないでしょう。バスをとめてもうて、結局市内の観光マップでもつくる気はあるんですか。橋本市には四季折々に、まあ言えばいろんな観光施設があつて、そこも一緒に行ってもらおうという。物産の問題もありますし、いろんなことを広げていける要素がたくさんあるんですよ。南海電鉄は「天空」だけ乗ってもうたらええというわけじゃないですけども、基本的には高野山へお客さんが電車でたくさん行っていただいたら、

南海電鉄はそれで結構ええと思うんですけども、橋本市はもっともっというんな面で広げていける要素があるわけでしょう。今のままでほうっておいたら、これ何も手を打たへんたら、京奈和自動車道、この間の話では、和歌山東道路が2012年には開通したいという、供用開始をしたいという話が出ていますね。今でもほとんどかつらぎ町からバスが行くんですよ。371号線が遅れておって、これ京奈和が向こうまで続いたら、ほとんどの高野山へ行くお客さんは480号で向こうへ上がるんですよ。そのときに何ぼ手を打ったって、そんなもう話になりませんねん。だから、今この「天空」が走るときにどないかしていかなと、そうでしょう。橋本市観光バス、まあ言うたら悪いけど、バスを今までの橋本市、九度山町、ずっと高野山に出るルートを復活しようと思っても、無理です、これははっきり言わせていただいて。そら371がきちっとなつて、紀の川の左岸農道がきちっとなつて、ほんで向こうの道もようなりや、それはともかく、そんなん遠い先の話です。その時分にはもうすべてがかつらぎから行ってしまいますよ。

そうやから、電車を利用する、このパーク・アンド・ライドとか「天空」を利用してどないかした高野山、ふだんから高野山の世界遺産の玄関口というてえらそんなことを言うておるんやから、そうでしょう、そのことにあわせて、やっぱりほんまに橋本市は高野山の玄関口やということを見せていかんとだめでしょう。もっともって広げて、どんどん、どんどんPRもして、何かもうほんまにちゃんとしたものを書いていかんと、そうやから、橋本駅へ2台、3台いけるスペースをつくるんやと、どないかして。あかんなんたら、たばこ産業跡地の市が買うた土地にそのバスを入れられるようにするとか、体育館へ何台も入れてどないかするとか、ちょっと発展して

考えていかんと、ただ単に南海電鉄と話をしておいて、駅前へ観光バス1台入れませと。40人、50人おりてもうてそれでええわというよな、それではもう話にならんねん。そんなんでは橋本駅前も活性化できひん、正直に言わせていただいて。そうでしょう。

橋本駅前が活性化せえへんのに、市内の観光事業が発展することはない。その辺、いっぺんどない、市長は結構そういう大きなというか、将来展望も含めてかなり計画というのは頭の中に、どんなことでも描いてくれるんであれなんやけど、そういう発想を、やっぱり職員がやって、こういうときこそ若い人の考え方も取り入れてそういう発想をしていかんと、橋本市は大変な状況に陥るんかなと思いますよ。

これね、ここのプロジェクトにも載っているんやけども、ボランティアも結構活動してくれておるんです、よそは。花屏風があるんで、これは橋本市だけでしょう、花屏風なんてないのは。市長は清水のところは菜種の種をまいていただいて、菜の花がきれいになっていますけども、これ下古沢とか高野下、この辺はかなり花屏風、きれいにできているんですよ。それは向こうでしょう、橋本市内でそんなないですね。だから、これも地元の、下古沢は地元のボランティア、下古沢ふるさとづくりの会とか、高野下のハナミズキ会とか、九度山はまちづくり協議会とか、いろんなボランティアがやっているんですよ。それで、橋本市はそういう人は全然、このボランティアに対しても南海電鉄はかなり協力をしているということなんですけれども、やはり橋本市のどっかのいろんな、清水も含めて、学文路もありますけども、いろんな駅もあるんで、こういうボランティアでやっぱりもっと一緒に積極的にやっていくという方法もありますし、だからその辺、今後ほんまにどな

いしていくんだということを、いっぺんちょっともう一回答弁。市長。

○議長（中西峰雄君）この際、議長より申し上げます。

本日の会議時間は議事の都合により、あらかじめこれを延長いたします。

市長。

〔市長（木下善之君）登壇〕

○市長（木下善之君）辻本議員の再質問にお答えしたいと思いますが、本当に先ほどから燃えておるといいますか、非常に簡明することばかり、もうはるかに私どもを追い越したような形でとうとうとお話が、有益なお話がいただけました。確かにそのとおりでございます。私どもとしましては、これはすべて市の行政の責任とまではまいりませんので、やはり市がリードした形で観光協会であるとか、あるいは商工会議所、そういう皆さん、そしてまた花鉄道なんかになってまいりますと、地域のボランティアの老人クラブであるとか、あるいはまた青少年の団体の協議会とかですね、あらゆる組織がたくさんあるものですから、そういう皆さんにもご無理を願って、地域おこしというんか、大規模なことはなかなか無理やと思います。しかし、こうや花鉄道で私も南海の幹部の皆さんにも再三再四話をしておりますのには、やはり学文路までの複線の用地があるものですから、そこらもう少し手直しして、そして、それぞれの地域で花づくりをしていただくとか、そういうことも大分話し合いはしておるんですけども、それを実行に移していかなだめやと思うんです、話し合い。

そして、私どもとして、駅前のやはり観光バスを誘致、そこから「天空」に乗っていただくということ、これが非常に意義が大きいと思うものですから、やっぱりそういうことをどういような流れでやっていくかという

ことを、やはり皆さん方のご意見も拝聴しながら観光協会、南海電鉄、県も含めて、ちょっと検討をしていきたいと思うんです。それは市町村、広域なこともございますので、やはり高野町、九度山町、かつらぎ町も含めた伊都の広域圏、あるいは県の振興局の皆さん、代表の方々ですね、そういうことはやっぱり、体制をちょっと整えながら、できるだけ早くそれを設立して、そして駒を前向いて進めていくように、具体的にはどうするかということは、きょうはちょっとまだ発表できませんけれども、実のある、本当に活性化に向けてよかったというような位置付けをしてまいりたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

○議長（中西峰雄君）12番 辻本君。

○12番（辻本 勉君）市長、答弁いただいたんで、もう言うことはないんですけども、一つだけ、高野山への観光ルートですけども、基本的には最近一番多いのが、多いというか、今後とも多くなるという予測をされるのが東京方面からですね、関東方面の方が結構多いということなんで、名古屋まで来られるんですね、新幹線で。新幹線で名古屋へ来られて、そこからバスに乗って熊の古道へ行かれる。そして高野山へ入ってこられるという、そういうルートが、熊野古道、大変世界遺産で力入っていますんで、この高野山よりも。熊野古道から高野山へというルート、バスルートが結構増えるだろうという予測をしています。これはもうJTBも南海電鉄もそうですし、予測しています。

そうしたら、南海としては高野山へ来られて、そこから極楽橋から橋本まで「天空」に乗っていただくと。それで橋本でおりにたいて、橋本駅前からバスで帰られるとか、いろんな方法があると思うんですけども、そのときに橋本駅前でご飯をいただいたり、

名産を買っていただいたりと、市内の観光をしたりとか、そういう形のルートが中心になるのかなという話もしていますんで、南海としても、同じお客さんに往復乗っていただくという気持ちはさらさらないみたいなんで、そういうルートがあるんで、まあ言うたらそれと逆のルートになりますけども、そういうルートになりますんで、そのことも頭に入れて橋本駅、特に観光案内所ができましたんで、観光案内所の果たす役割って、これ大変大きいものになってくると思うんです、結構これから。せっかくあそこに、外へ出てちゃんとしたもんができましたんで、それも多いに活用いただいて、市長言われたとおり、そういう会でもこしらえていただいて、積極的に検討していただいて、橋本市にとってプラスになるような、大きなプラスになるように。この機会を逃すと、本当に橋本市の観光といえますか、そういう形は全くだめになりますので、ぜひとも積極的な対応、自ら進んでやるというか、橋本市がリーダーシップをとってやっていくという、南海電鉄もついて来いというぐらいの気持ちでやっていただくようお願いいたしまして、終わりたいと思います。

○議長（中西峰雄君）これをもって、12番 辻本君の一般質問は終わりました。

先ほど保留いたしました、12番 瀧君の再質問に対する答弁をいたさせます。

健康福祉部長。

○健康福祉部長（森本健二君）大変遅くなり、ご迷惑をおかけしました。瀧議員より乳幼児医療費の助成に伴う他県との所得制限の比較につきましては、奈良県、大阪府につきましては、児童手当の特例給付の所得制限と同じです。ただ、河内長野市だけは私の調べたところによりますと、所得制限がなしということになりますので、所得の高い方が橋本市に転入された場合につきましては、乳幼児医療費

が受けられない方も出てくるということになるかと思えます。

以上でございます。大変ご迷惑をかけました。よろしくお願ひしときます。

---

○議長（中西峰雄君）お諮りいたします。

本日の会議はこの程度にとどめ、明6月10日午前9時30分から会議を開くことにいたし

たいと思えます。

これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中西峰雄君）ご異議なしと認めます。

よってそのように決しました。

本日は、これにて延会いたします。

ご苦労さまでした。お疲れさまでした。

（午後5時5分 延会）